

日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会
第73回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録

1. 日時 2021年1月27日(木) 15:00-17:00
2. 場所: Web会議 (Webex)
3. 出席者: 岡本主査, 松原福主査, 田中幹事, 青井, 石原, 工藤, 黒川, 小山, 佐藤, 田村, 仲田, 西村, 堀川, 深田, 見上, 目黒, 山本
(欠席: 中村) (敬称略)
4. 配布資料
 - R3SC-73-1 人事案件 (未配布)
 - R3SC-73-2-1 日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会
第71回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録(案)
 - R3SC-73-2-2 日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会
第72回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録(案)
 - R3SC-73-3-1 「発電用原子炉施設の廃止措置計画における施設特性調査指針:20XX」について
 - R3SC-73-3-2 「発電用原子炉施設の廃止措置計画における施設特性調査指針:20XX (案)」完本版
 - R3SC-73-4-1 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準:20XX (案)”
専門部会本報告について (本報告版について)
 - R3SC-73-4-2 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準:20XX (案)”
回答書「解説 3.3 原災法との関係について」
 - R3SC-73-4-3 NED379(2021)111212 に対する原子力安全検討会意見募集のコメント回答
 - R3SC-73-4-4 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準:20XX (案)”
日本原子力学会事務局コメント対応について
 - R3SC-73-4-5 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準:20XX (案)” 完本版
 - R3SC-73-4-6 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準:20XX (案)” 新旧対比表
 - R3SC-73-4-7 放射線遮蔽設計法に係るワークショップ 第7回「廃止措置時の安全評価で使用するデータ」
 - R3SC-73-5-2 2022年度原子力学会_標準策定5か年計画 (基盤応用・廃炉技術) (分科会案)
5. 議事
 - (1) 出席者/資料確認 17名参加
 - (2) 【審議】人事案件 (人事案件なし)
 - (3) 【審議】前々回及び前回議事録確認
第71回分科会、第72回分科会の議事録が了承された。
 - (4) 【報告/審議】「発電用原子炉施設の廃止措置計画における施設特性調査指針:20XX」について
 - ① R3SC-73-3-1及びR3SC-3-2に沿って施設特性調査指針の改訂箇所の説明があった。修正箇所は以下のとおり。

- ・ 関連標準の名称変更に伴う変更、標準記載要領に準拠するための変更など
- ② Q/C: “これは規定の一部ではない”との記載があるが、指針はそもそも“規定”か。
- ③ Q/C: “施設”、“対象施設”をいずれかに統一すること。⇒ “対象施設”で統一する。
- ④ Q/C: 適用範囲について“もんじゅ”を除外した理由は何か。⇒ 燃料取出しから廃止措置になるため、通常の原子炉施設とは異なるとの理由であった。
- ⑤ Q/C: この指針の適用外ではあるが、参考にできる対象として“核燃料を取り扱う施設及び加速器施設”としているが、参考にするなら1F、もんじゅなども対象にできるのではないか。⇒ ご指摘のとおりなので、見直すこととする。
- ⑥ Q/C: ⑤について、なお書きは本文の一部なので、注記で記載すること。
- ⑦ 2022年5月の専門部会で中間報告を行う予定とし、分科会意見募集を行う。

(5) 【報告】「発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準:20XX」の専門部会本報告について（本報告版について）

- ① 安全評価基準(案)の経過及び本報告資料について、R3SC-73-4-1～R3SC-73-4-9に沿って説明があった。説明項目は以下のとおり。
 - ・ 本報告用資料(R3SC-73-4-1)は中間報告からの進捗分を追記した。
 - ・ 原災法との関係については、コメント者である標準委員会 山本委員長に回答書(R3SC-73-4-2)を送付し、回答書の根拠となる定量的検討結果をご覧いただいた上で、解説3.3として説明を追加することを了解いただいた。
 - ・ 2021/11/10の原子力安全検討会において、グレーデッドアプローチの考え方及びこれを適用した安全評価手法の説明を行い、ベースとなる文献NED379(2021)111212について意見募集を行って、山本委員長から3件のコメントをいただいた。これに対する回答案(R3SC-73-4-3)に沿って説明した。
 - ・ 原子力学会事務局から標準記載要領に準拠するためのコメントを300件程いただいた。コメント対応表をR3SC-73-4-4に示す。エディトリアルなコメントと文献転載箇所の出典の記載が主な内容であり対応済。
 - ・ 完本版(R3SC-73-4-5)及び新旧対比表(R3SC-73-4-6)は、2021/11/8の専門部会メール審議版に対する修正箇所がわかるように整理を行った。解説3.3に誤記があるので修正して本報告用とする。
 - ・ 放射線工学部会の遮蔽設計WSが明日(1/28)に開催され、安全評価基準(案)、グレーデッドアプローチを適用した安全評価手法、評価パラメータの説明をR3SC-73-4-7で説明する予定となっていることを報告。パラメータ整備については広く意見を募集し、最新知見取り込みの推進のきっかけとすることを説明。
- ② Q/C: 本報告用資料(R3SC-73-4-1)は“中華報告、意見募集、本報告をしたい”と記載されているが、中間報告は終了しているので“本報告をしたい”に修正すること。⇒ 拝承。
- ③ Q/C: グレーデッドアプローチは規制緩和ではなく、リスクの大きさに合わせた規制を行うことであり、WSでは誤解のないように説明すること。⇒ 拝承。
- ④ Q/C: 重要度ランクの分類は高→低になっているが、低→高で説明してほしい。⇒ 過去に高→低で説明するようコメントがあったことからそのような表記としているが、作業としては低→高の順番で判定していく。資料R3SC-73-4-7は直せないが、口頭で補足する。
- ⑤ 2022/2/1の専門部会では、中間報告からの修正箇所を説明した上で、本報告とすることを審議いただくこととする。

本日の資料で一部誤記を修正して専門部会に本報告することとされた。

(6) 【報告/審議】2022年度原子力学会_標準策定5か年計画（基盤応用・廃炉技術）について

- ① R3SC-73-5-1に沿って、廃止措置関連標準整備の5ヶ年計画案の説明があった。

- ・基本安全基準、廃止措置計画策定基準は2022上期中に制定の見込み。
 - ・安全評価基準は2022年度中に制定の見込み。
 - ・実施、耐震は2021年に5年間の改訂見送りを決定。
 - ・火災防護は中断中。
 - ・インベントリ評価指針、施設調査指針、作業立案指針は2021年度末から審議再開
- ② 耐震基準、火災防護基準案は安全評価基準の一部として整備することが望まれる。
 - ③ 試験研究炉、燃料サイクル施設等の計画については、JAEA、大学関係委員で整備してほしい。
 - ④ 今後検討すべき事項があれば、リストアップしてほしい。
 - ⑤ 5ヶ年計画のEXCELを委員に送付するので1週間程度で幹事に返信してほしい。
 - ⑥ その結果もって5ヶ年計画をメール投票する。

(7)その他

- ① 次回は2022年3月16日(水) 15:00～17:00

以上